

地球惑星科学委員会SCOR分科会 GEOTRACES小委員会(第24期・第1回)
議事録要旨

開催日時：平成31年2月22日(金) 12:00~13:00

開催場所：東京大学大気海洋研究所講義室(216) (〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5)

出席者：小川浩史、小畑元、蒲生俊敬、熊本雄一郎、佐野有司、宗林由樹、張勁、永井尚生、西岡純、則末和宏、山田正俊

オブザーバー：近藤能子

欠席者：武田重信、羽角博康、馬場典夫

(12名)

・議 題 等

(1) 役員を選出

学術会議連携会員である蒲生委員より、第24期日本学術会議地球惑星科学委員会SCOR分科会GEOTRACES小委員会の発足について説明があった(資料2)。

委員の互選により、委員長に張委員を選出した。張委員長により小畑委員が幹事に任命され、認められた。

その後、資料1の委員名簿により各委員の情報を確認した。

(2) 委員の推薦

張委員長より、国際GEOTRACES Standard and Intercalibration (S&I)小委員会メンバーである近藤能子氏(長崎大学水産・環境科学総合研究科准教授)が委員として推薦され、認められた。

(3) GEOTRACES-SSC会議および関連事項の報告

小畑委員より資料3に基づき、現在の国際GEOTRACESにおける日本の関係者が紹介された。次に、2018年度に行われた国際GEOTRACES関係会合への日本からの出席状況が示された。続いて2018年9月19-21日に日本で行われたBioGEOTRACES workshopについて簡単な紹介があった。また、国際GEOTRACESでは「GEOTRACES Best Practices」が作成されており、今後の活動の参考にしてほしいとの要請があったことが紹介された。

(4) GEOTRACES-DMC会議および関連事項の報告

西岡委員より、2018年4月17-18日に英国リバプールにおいて行われたData Management小委員会についての報告があった。主に、IDP2017の問題点、IDP2021に向けての改善策、データ入力のためのPortal Site、Reference Materialについて議論があったことが紹介された。

(5) GEOTRACES-SI会議および関連事項の報告

近藤委員より2018年12月6-7日にフランスマルセイユにおいて行われたS&I小委員会についての報告があった。新しいメンバーが多かったことから、IDP2017作成のために行ったS&I小委員会の活動についての説明と、今後の役割分担について議論

があったことが紹介された。

(6) 最近のGEOTRACES関連航海の実施状況および今後の実施予定

小畑委員より、2017年度に申請したGEOTRACES関連白鳳丸航海が仮採択され、2021年に実施予定であることが紹介された。また、西岡委員によりGEOTRACESに関係が深い研究として、ロシア研究船によるオホーツク海、ベーリング海航海が実施されたことが紹介された。さらにGEOTRACES白鳳丸研究航海のルーチンデータの管理について議論を行った。

(7) 国内Website、メーリングリスト、データ公表状況など

張委員長から国内Web siteは引き続きJODCで管理されることが報告された。また、メーリングリストの整理を行うことが報告された。メーリングリストの追加・削除は国内Web siteで行うのが望ましいので、検討を行うこととなった。IDP2021に向けてデータ公表の準備を始める必要があることをコミュニティーに向けて周知することとなった。

(8) その他

・張委員長より、2019年SCOR年会在富山で開催され、日本海洋学会秋季大会中にジョイントセッションが開催されることが報告された。GEOTRACES関連セッションの開催をコミュニティーに提案することとなった。

4 配付資料

資料1 地球惑星科学委員会 SCOR 分科会 GEOTRACES 小委員会委員名簿

資料2 第24期日本学術会議地球惑星科学委員会組織図

資料3 GEOTRACES 活動報告

資料4 GEOTRACES Best Practices